

1,530インチの大型映像表示装置を軸に映像システムを刷新 ボートレースファン以外にも楽しめる地域に開かれた施設づくりに貢献



背景

コミュニティ施設を融合させたファミリーが楽しめる複合施設に大改修

BOAT RACEからつは、1953年に佐賀県唐津市に開設された歴史のあるボートレース場です。長年にわたり地域の娯楽施設として親しまれてきましたが、施設の老朽化やオンライン中継といったニーズの多様化による利用者の減少を受け、新たな魅力を創出する必要性がありました。そこで2019年から2021年まで2年をかけて施設の大規模改修を実施。家族連れも楽しめるコミュニティエリアを融合させた複合施設として生まれ変わりました。そして2024年、さらなる施設の充実を目的にスタンド対岸に設置された大型映像表示装置やレース映像撮影用カメラ、映像送出装置の刷新を行いました。

導入した理由

安定運用が可能な大型映像表示装置と映像システム

施設がリニューアルされた一方で、大型映像表示装置は前回の更新から長期運用されていたため、頻繁な修理が発生し、さらにその際の交換部品の確保が難しいという課題に直面していました。同時にボートレース撮影用のカメラも耐用年数を迎えていたため、安定した運用を確保するために大型映像表示装置のリニューアルを軸に映像システムの入替えが検討されました。複合施設として生まれ変わったことにより、幅広い運用が求められる中、パナソニックが長年培ってきた映像技術により様々な客層が楽しめる映像システムが構築されました。

地域住民が充実した時間を過ごせる施設を併設したボートレース場

BOAT RACEからつは佐賀県唐津市に位置するボートレース場です。ボートレース場としての機能は2階に集約し、1階はコミュニティエリアとしてフードコートやキッズスペース、ブックカフェ、イベントホールなどを整備しています。家族連れや学生が訪れても楽しめる多彩な施設が揃っており、地域住民が充実した時間を過ごせるスペースとして賑わいを見せています。

- 所在地：〒847-0031 佐賀県唐津市原1116
- URL：<https://www.boatrace-karatsu.jp/>



▲ BOAT RACE からつ外観



BOAT RACE からつ 唐津市ボートレース企業局 様

導入時期：2024年10月
導入地域：九州

課題

ボートレースファン以外の利用者が獲得するため新しい価値を創造したい

解決策

大型映像装置や映像システムの刷新で幅広い運用を実現し、魅力的な施設づくりに推進

“映像のクオリティが向上したことで、パブリックビューイングなどのボートレースファン以外にも楽しめるイベントも開催できるようになり、施設の利用価値が高まりました。”

唐津市ボートレース企業局
総務管理課 施設整備係長
合力 弘明 様

※所属は納入時のものです。

大型映像表示装置&場内映像システム



▲横37.0m×縦10.5mの大型映像表示装置は対岸からでも迫力のある映像を楽しめる



▲スタートとゴールを撮影するセンターカメラにはスタジオカメラ AK-HC3900を採用



▲コントロールルームに設置したりリモートオペレーションパネル AK-HRP250GJ

導入後の効果

対岸のスタンドからでも見やすい1,530インチの大型映像表示装置

大型映像表示装置は横37.0m×縦10.5m(1,530インチ)のサイズを採用。対岸のスタンドからでも迫力のあるボートレース映像を鮮明に楽しむことができます。唐津市ボートレース企業局の合力様は「従来の大型映像表示装置は16:9の比率でしたが、大型映像表示装置の隣に設置されていた旧電光掲示板のスペースを活用し、32:9のワイド画面に拡張しました。全画面映像はもちろん、2分割画面でレース映像と同時にオッズ情報等を表示し、ボートレースファンからは状況がわかりやすくなったと好評です」と語ります。

新しい映像システムが迫力のあるレース状況の表示に貢献

レースのスタートとゴールを撮影するメインカメラはAK-HC3900を採用。ハイエンドのスタジオカメラで、臨場感のあるレース映像を大型映像表示装置に映し出しています。さらに、レース場コーナー撮影用カメラとして場内5箇所に4KマルチパーパスカメラAK-UB300GJを設置。コントロールルームから遠隔操作する電動旋回台に実装されたAK-UB300GJが映す映像は、迫力のあるレース状況の表示に貢献しています。また、公営競技運営に必要な情報を供給する上位システムと接続して大型映像装置への1日の表示をすべて自動で行うシステムを今回新たに製作。既存の場内映像は2画面で表示し、独自情報(オッズや競技情報)は32:9の大画面で非常に見やすく表示します。唐津市ボートレース企業局の鷺崎様は「これまでオッズやレース情報は協会から提供される映像を表示していましたが、BOAT RACEから独自のCG映像をパナソニックさんと一緒に作り上げていきました。テロップ送出やスケジューリング機能など、柔軟に対応いただき助かりました」と語ります。



▲コントロールルームの映像送出装置も刷新

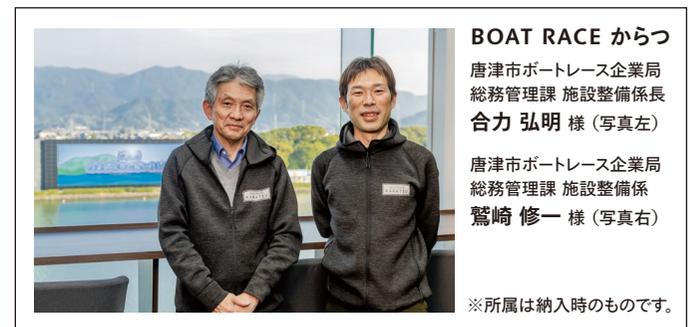


▲レースの要所を撮影するカメラはAK-UB300GJを採用 (カメラはハウジング内部に実装)

お客様の声

地域に根ざした複合施設として、 今後も新しい価値創造に挑戦

映像のクオリティが大幅に向上したことでお客様からも綺麗で見やすくなったと好評です。今後はパブリックビューイングをはじめとしたボートレースファン以外も楽しめるイベントの開催なども視野に入れており、施設の利用価値が高まったと思います。近年、インターネット中継が主流になったことでボートレースファン自体の来場は減少傾向ですが、BOAT RACEからつがより一層、幅広い方に利用されることを期待しています。地域に根ざし開かれた複合施設として、今後も新しい価値創造に挑戦し続けます。
(唐津市ボートレース企業局 合力様)



BOAT RACE からつ

唐津市ボートレース企業局
総務管理課 施設整備係長
合力 弘明 様 (写真左)

唐津市ボートレース企業局
総務管理課 施設整備係
鷺崎 修一 様 (写真右)

※所属は納入時のものです。

納入機器

- ・LED大型映像表示装置 ×1式
- ・映像送出システム
(自動生成テロップ、CG、スケジューラー含む) ×1式
- ・HDスタジオカメラ **AK-HC3900** ×1台
- ・カメラコントロールユニット **AK-HCU250** ×1台
- ・4Kマルチパーパスカメラ **AK-UB300GJ** ×5台
- ・リモートオペレーションパネル **AK-HRP250GJ** ×6台

